資料3

次世代火山研究人材育成コンソーシアム構築事業

次世代火山研究者育成プログラム

教育プログラム・運営の実施状況

主に2018年11月から2019年3月

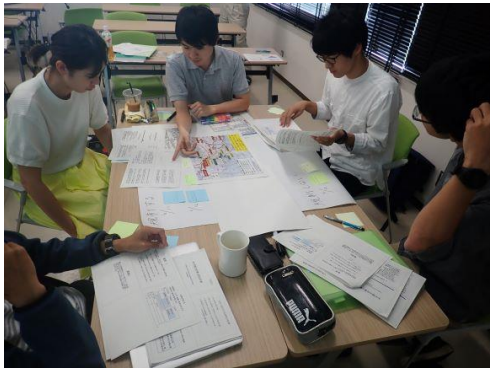
説明者　西村太志（東北大・理）

（代表機関）東北大学
（参加機関）北海道大学、山形大学、東京大学、東京工業大学、
名古屋大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学
神戸大学
（協力機関）防災科学技術研究所、産業技術総合研究所、
気象庁気象研究所、国土地理院、
信州大学、秋田大学、広島大学、茨城大学、
首都大学東京、早稲田大学

B.コンソーシアム等が開講する授業

・火山学セミナー　Web会議システムも利用して多くの受講生が聴講

06/02　社会科学（阪本真由美　兵庫県立大学准教授）　21名
07/07　火山砂防（藤田　正治　京都大学　教授）　11名
（堤　大三　三重大学　教授）　11名
11/09　測地観測（藤原　智 総括研究官国土地理院）　19名
（川元 智司 火山情報活用推進官　国土地理院）



11/15-16　噴煙観測（真木雅之　鹿児島大学　特任教授）　2名
01/10　火山ガス（野上健治　東工大教授）　9名
02/26-27　実験学（市原美恵　東大准教授）　12名
02/22　火山観測（橋本武志　北大教授）　15名
03/14-16「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」
平成29年度成果報告会　17名

・火山学実習（フィールド実習）

霧島　　2019年　03/03-08

受講生14名
教員　16名

霧島山・韓国岳巡検

地球物理（水準測量）

地質・岩石（露頭調査）

地球化学（噴気観測）

ドローン実習

C.インターンシップ

コンソーシアム参画機関実施

産総研	2名
気象研	3名
防災科研	3名
国土地理院	1名

地方自治体

北海道	1名	
鹿児島県	1名	
宮城県	4名	（2019年1－2月実施）

D.学会発表

2018年日本地球惑星科学連合大会	22名
2018年日本火山学会秋季大会	19名
日本測地学会第128回講演会	1名

コンソーシアムの構築

○大学　参加機関

東北大学、北海道大学、山形大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、神戸大学

協力機関

信州大学、秋田大学、茨城大学、広島大学、首都大学東京、早稲田大学

○国等の研究機関（協力機関）

防災科学技術研究所、~~気象庁気象研究所、~~国土地理院

産業技術総合研究所、**気象庁（12月）**

○地方自治体（協力団体）

北海道、宮城県、長野県、神奈川県、岐阜県、長崎県、鹿児島県

○学協会（協力団体）

日本火山学会

イタリア大学間火山学コンソーシアム（協力団体）

日本災害情報学会（10月）

○民間企業

アジア航測株式会社（2019年4月）

事務局の拡充

社会科学系の教員雇用

本プログラムが育成する受講生
多様な火山現象の理解の深化
国際連携を強めた最先端の火山学研究を実践
高度社会の火山災害軽減を図る災害科学の一部を担う

社会科学系講義の実施や設計等を担当
教育、運営、広報等に関する業務を担当

准教授　地引泰人 博士

専門　国際緊急人道支援／国際関係論／国際防災の政治学

2018年受講生状況

2019年 3月　基礎コース修了者　17名
応用コース修了者　22名

学年	北海道大学	東北大学	山形大学	茨城大学	東京大学	東京工業大学	首都大学東京	信州大学	名古屋大学	京都大学	神戸大学	広島大学	九州大学	鹿児島大学	計	男:女
M1	3	3	1	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	22	20:2
M2	5	3	1		2					1	3		2	1	18	12:6
D1	1				2				1	2			1		7	3:4
D2	1	2			1				1						5	4:1
計	10	8	2	2	7	1	1	2	3	5	4	1	4	2	52	38:14

M2　7名　博士課程進学

平成29~31年度修了生　進路先まとめ

受講生18名中	火山研究・防災関係	9名
	地球科学関係	2名
	中高教員	2 名

・平成30年度（平成30年度修士課程修了者8名及び博士課程中途退学者2名）
　気象庁1名
　民間企業（防災対策、地質/岩石分野）2名
　地方自治体職員（地質災害、防災対策関係）1名
　中学校教員1名
　民間企業（地球科学関係）1名
　国の機関1名
　民間企業（一般）3名

・平成30年度（平成29年度応用コース修了、平成30年度に博士号を取得した者3名）
　気象庁、JSPS特別研究員（PD）、ジオパーク学術研究員

・平成29年度（5名）
　国土地理院1名
　民間企業（防災、地質関係）1名
　民間企業（地球科学関係）1名
　高校教員1名
　民間企業（一般）1名

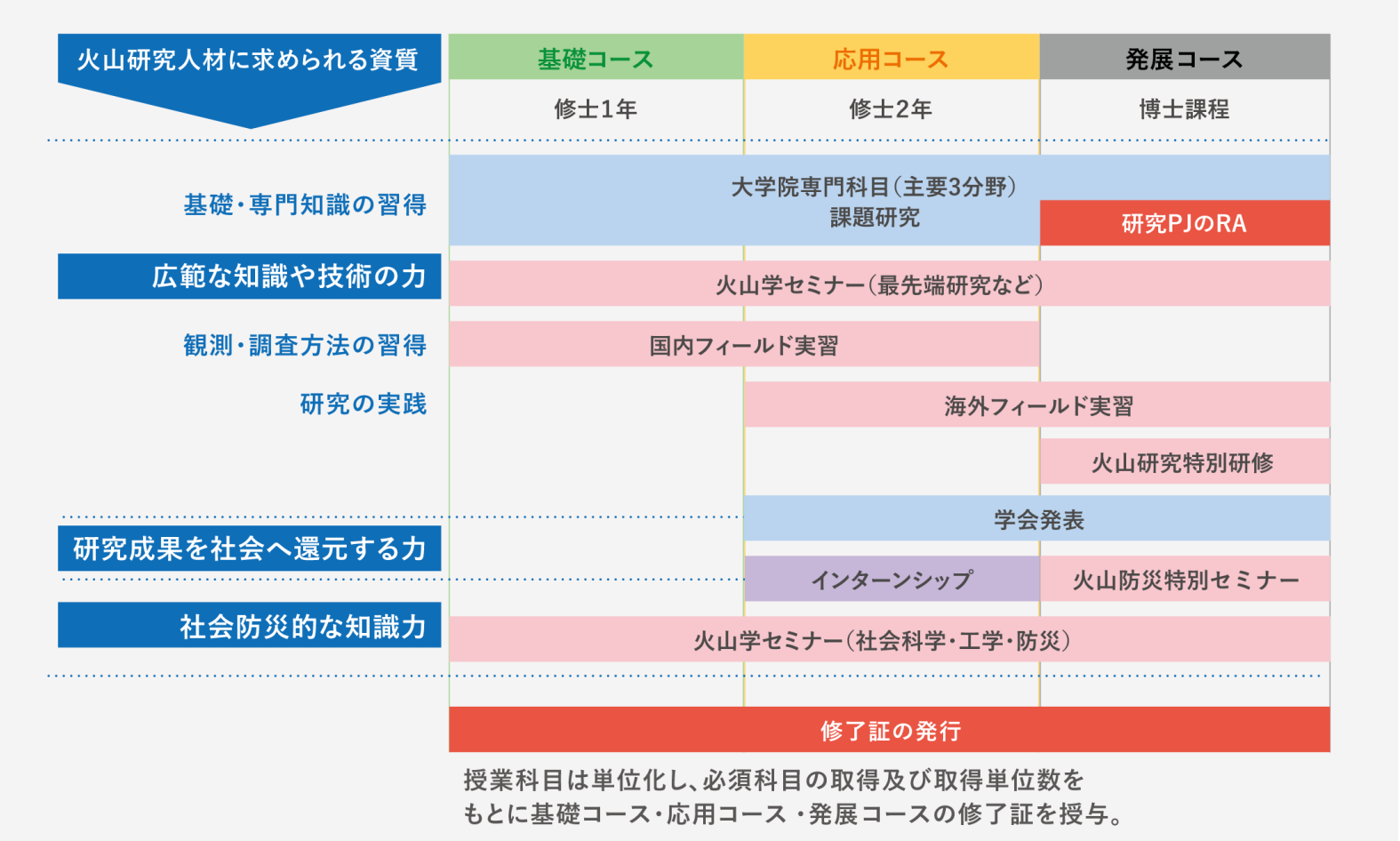
2018年度人材育成運営委員会の開催状況

回	開催日	主な審議事項
1	4/23-25　メール	受講生追加募集、委員の交代
2	5/21-24　メール	准教授人事選考委員会
3	7/27-31　メール	准教授人事選考
4	9/26	受講生修了者
5	10/21-25　メール	H31年度募集要項、審査委員会
6	10/26-30　メール	コンソーシアムへの新規加入機関
7	12/25	H31受講生決定、事業計画概要
8	1/31-2/5　メール	H31事業計画
9	3/11-15	H31受講生便覧、追加募集

発展コースの新設

受講生数　5名程度／年
対象　　博士課程大学院生（原則、基礎・応用コース修了者）

高度な火山研究を実施する能力の 習得
災害軽減に関する社会学的知識の習得



発展コース　本プログラム提供の授業科目

火山学特別実習
国内外の火山で行われる実習や最先端研究を支える観測等に参加し、高度な観測調査・研究実践能力を身につける。

海外特別研修
海外で行われている火山観測や火山防災などに関する実習 や研修を受け、国際的な視野を広げる。

火山学特別セミナー
火山研究の多様な分野の知見を得る。また、自然災害に関する社会科学の基礎を学び、火山研究の社会での活用方法を考える。

火山研究特別研修
国内外で活躍する火山研究者の最先端研究を理解し、災害の軽減に貢献する火山研究の方向性を考える。また、自身の研究の紹介と質疑応答を通し、研究の問題点と改良方法を考え る。

火山防災特別セミナー
国の機関・地方自治体で火山防災や監視業務を担う職員と議論し火山防災施策の現状を把握するとともに、災害軽減を図 る効果的な方法を考察する。

2019年度受講生の募集と採択

〇基礎・応用コース

募　　集　平成30年11月
　　応募者数　24名
　　採択数　　16名

追加募集　平成31年3月
　　応募者数　6名
　　採択数　　4名

〇発展コース

募　集　　平成31年3月
応募者数　12名
採択数　　12名

2019年受講生状況

2016年度認定　36名、2017年5月認定　4名
2017年度11月　修了認定　30名（基礎30）
2018年3月　修了認定12名（基礎8、応用4）
2018年度認定　22名
2019年3月　修了認定39名（基礎17名、応用22名）
2019年度認定　33名（基礎・応用コース20名、発展コース13名）

学年	男	女	計	備考
M1	17	5	22	
M2	18	2	20	
D1	6	2	8	発展コース受講生
D2	3	2	5	発展コース受講生
D3	1	1	2	
計	45	12	57	

学年	北大	秋大	東北大	山形大	茨城大	東京大	東工大	東京都大	早大	信州大	名大	京大	神戸大	広島大	九大	鹿大	計	備考
M1	3	1	3		2	2	1	1	2		2	1	1		2	1	22	
M2	3		3	1	1	2		1		2		2	2	1	1	1	20	
D1	1		3			1	1						1		1		8	
D2	1					2					1	1					5	
D3			1								1						2	
計	8	1	10	1	3	7	2	2	2	2	4	4	4	1	4	2	57	

スケジュール（前期）

		コンソ授業等（火山学セミナー・実習）	大学講義
4月	上旬		
	中旬		火山活動論（名大4-7月） 火山物理学特論（東北大4-7月）
	下旬	4/20, 21　認定式 火山学セミナー（研究PJ）	
5月			
6月	上旬	火山学特別セミナー （社会科学、地引6/6 15h-18h）	
	中旬	海外研修/海外特別研修 （ストロンボリ6/13-24）	
	下旬	火山学特別セミナー（社会科学、地引6/27）	
7月	上旬	火山学特別セミナー（社会科学、関谷 7/11）	
	中旬		
	下旬	火山学特別セミナー （気象庁職員研修、7/22-8/1）	岩石運動論（九大、集中、7/29-30）
8月	上旬	火山学セミナー（数値計算、小園, 8/1-2）	
	中旬		
	下旬		
9月	上旬	火山学実習（樽前山、9/8-13）	
	中旬		
	下旬	火山学会（神戸大）(9/25－27) 火山学(特別)セミナー （9/28? 災害情報、田中）	

スケジュール（後期）

		コンソ授業等（火山学セミナー・実習）	大学講義
10月	上旬		アドバイザリー訪問(10月から3月)
	中旬	火山学（特別）セミナー （火山防災、気象庁）	海底火山探査実習（神戸大 10/10-24）
	下旬	火山防災特別セミナー （特別聴講生、長野）	
11月	上旬	海外研修/海外特別研修 (10/28-11/2 ACV台湾大屯火山)	火山物理学（京大、集中11/4-8）
	中旬	火山学セミナー（火山噴煙、真木）	
	下旬	火山研究特別研修 (南洋大学EOS,11/18,19予定)	
12月	上旬		
	中旬		
	下旬		
1月	上旬		
	中旬	火山学セミナー（熱学、寺田）	
	下旬		
2月	上旬		
	中旬	火山学セミナー（岩石学、栗谷）	
	下旬	火山学セミナー（実験　中村（美））	海底火山探査実習（神戸大 2/27-3/11）
3月	上旬	火山学実習（桜島、3／8－13）	
	中旬	火山学（特別）セミナー （災害軽減成果報告シンポ）	
	下旬		

成果目標

	年度	基礎	応用	博士	講義等	テキスト	コンソーシアム機関
10	R7	140	54	36	内容の修正・加筆		
9	R6	126	48	30			
8	R5	112	42	24			
7 中間評価	R4	98	36	18	講義体系化	10分野 6火山	海外協力機関等も合わせて20程度
6	R3	84	30	12			
5	R2	70	24	6			
4 中間評価	H31	56	18		講義内容把握 体系化案の作成	2分野 3火山	大学+3、自治体2 民間企業2
3	H30	42	12				学協会
2	H29	28	6		Web会議による配信開始	作成開始	
1	H28	14					8大学、4研究・国の機関でスタート

成果目標＆実績

	年度	受講生採用数（積算）	基礎修了数（積算）	応用修了数（積算）	講義等	テキスト	コンソーシアム機関
4	31 中間評価	実績 82 （+26） 発展12 (+12)	目標 56	目標 18	講義内容把握 体系化案の作成	2分野、3火山	大学+3、 自治体2 民間企業2
3	30	実績 62 （+22）	目標 42 実績 58 （+20）	目標 12 実績 23 （+19）		5火山（フィールド実習用、霧島、草津白根、桜島、蔵王、樽前）	大学＋8 学協会＋3 自治体＋7
2	29	実績 40 （+4）	目標 28 実績 38	目標 6 実績 4	Web会議による配信開始 Web会議開始 授業テキスト・アーカイブ	作成開始 火山学教科書1 （共立出版より出版）	大学＋2 学協会＋1 自治体＋6
1	28	実績 36	目標 14				8大学、 4研究・国の機関でスタート